

決算特別委員会から

(2・3ページ)

平成13年度一般会計歳入歳出決算の審査状況から、主なものをお知らせします。

賛成討論

市民フォーラム
平成13年度は、市民との協働によるまちづくりの施策が充実した年であると評価する。
福祉面では、介護保険制度定着に向けた事業、環境面では、環境負荷低減対策、教育面では、総合的な学習事業等、多くの事業を積極的に推進してきた。また、榊原記念病院の建設工事の着工、府中駅南口再開発事業、西府土地区画整理事業など、3大プロジェクトも着実に進んでいる。厳しい財政状況の中、これからの時代に適合した分野に予算を配分してきたことは評価される。
今後、市民社会の更なる向上のために、一層の努力を期待し、本年度決算に賛成する。

府中市議会市政会
平成13年度は、健全財政の維持に配慮した適切な施策が実施された年と評価する。
地域サービス事業や障害者地域自立生活支援センター事業の実施等、福祉施策の充実を図るとともに、ISO14001の認証取得やIT講習会の開催等、時代に合った事業が展開された。
また、将来を見据えたまちづくりとして、西府土地区画整理事業や府中駅南口再開発事業の進展が図られるなど、着々と事業が進められてきた。
限られた財源の中、市民の要望に応え、時代に即応した施策の実施を期待し、本年度決算に賛成する。

反対討論

日本共産党府中市議会議員団
市は、財政立て直しを図るため、二度にわたる財政危機キャンペーンを行った。しかし、13年度決算での市税は、約12億5000万円の増収があった。
市は、福祉の見直しや市民サービス削減を進め、はり・きゆう・マッサージ事業や指定疾病者福祉手当の見直しなど、受給者には大変な負担となる施策を行った。一方で、府中駅南口再開発事業や西府土地区画整理事業等の投資的事業には、多くの税金を投入した。
ハード中心ではなく、市民の生活に心配りができるような市政への転換を強く求め、本年度決算に反対する。

生活者ネットワーク
バブル崩壊とともに、全国の再開発事業が行き詰まりを見せる中、市の再開発事業については、補正予算は当初予算を倍増し、投資的経費全体を一挙に20%にアップさせるなど、ハード重視復活の考えが明らかとなった。経済が低迷した状態で、基本施策を含め巨額の財政支援をする市の責任は重大である。また、13年度決算で、ハード整備の為に、生活に直結した細かな施策予算を見直して財源を生み出していることは深刻である。
開発重視を見直し、情報公開と市民参加によるまちづくりを目指す市政を求め、本年度決算に反対する。

入 歳

使用料・手数料 収入未済の対策は

委員 使用料と手数料については、民生、土木、教育の使用料と衛生手数料に収入未済が生じている。サービスを受けているにもかかわらず、対価を支払わないというものは、原則許されるものではない。例えば、衛生手数料の未済額36万6400円について、内容や今後の対策を聞きたい。
清掃課長 これは、事業系の廃棄物を処理する場合の手数料で、7件分の未済額である。
対応として、催告書の送付や直接納入をお願いしているところだが、未済となっている。商店等へは、商売の状況を考慮し、若干の余裕を見て対応していたが、今後は早い段階の収納に努力したい。

市民税・固定資産税 増減の要因は

委員 不況が深刻である中、平成13年度決算で、市税は前年度比12億円余が増加している。
そこで、市民税・固定資産税等の増減の要因について聞きたい。
市民税課長補佐 個人市民税の減は、社会情勢等の影響による賃金の低下が考えられる。また、法人市民税の増は、下半期におけるIT関連会社の好調が要因と考えられる。
資産税課長 固定資産税の増は、土地の負担調整措置による課税標準額の上昇と家屋の新築分、償却資産のインテリジェントパーク内企業等の設備投資増が要因と考えられる。
また、特別土地保有税関連の増収があった。

出 歳

コミュニティバス 運行の周知方法は

委員 昨年、市長の大きな公約として、コミュニティバスの検討協議会が発足し、来年から本格実施というところになった。
しかし、地域では「コミュニティバスって、なに」、「どこを通るの」といった声が聞かれ、市民の関心も大変大きなものである。
そこで、バスの名称の決め方と試験運行のルートの周知方法を聞きたい。
計画課長 名称は、市民に親しまれるものと考えており、公募を念頭におき、協議会と調整していきたい。
ルートについては、市の広報等で周知を図るとともに、地域ごとのパンフレットを作成し、配布していく。

文化財の研修 観光ボランティアに

委員 市内には、貴重な文化財が身近に多くあり、驚かされる。ぜひPRすべきと思うが、国や都の指定文化財や天然記念物等ほどのくらいあるか聞きたい。
また、観光案内ボランティアへ、文化財保護の観点から研修はしているか。
文化財担当主幹 国の指定文化財は、馬場大門のけやき並木他11件、都指定は、分倍河原古戦場や甲州街道高札場他

ペットボトルの 回収委託方法は

委員 市では、資源回収ボックスを使って缶、ビン等の分別収集を行っている。
現在、ペットボトル回収袋を一部地域で設置しているが、設置箇所は少なく、設置を要望している自治会などが多いと聞いている。回収率を上げるためにも要望のあるところには、できるだけ設置をお願いしたい。
そこで、回収委託方法及び回収状況と設置数を聞きたい。
清掃課長 委託方法は、一台当たりの単価契約であり、契約の範囲でお願いしている。
環境安全部次長 前年度同月比で40トンの増である。当初予算では、300か所を予定していたが、500か所に増やした。

総合的な学習 その成果は

委員 総合的な学習振興費は、「子供たちが、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力を育成するため、環境・情報・福祉教育など創意工夫を生かした教育活動に努めた」とあるが、この事業の成果等を聞きたい。
指導室指導担当主幹 小学校では多摩川を考えよう、「パソコンで調べよう」等191のテーマと、中学校では「自然体験教室」等58のテーマが行われた。
父母からは、週休2日になっても、こうした総合学習があるのだから心配ないとの評価がある。今後、更にこうした学習が深まることを目指したい。



▲国の天然記念物「けやき並木」

15件、市指定は、府中離子他39件である。
また、観光案内ボランティアへは、市内施設等について、今後、観光協会の協力を得ながら実施していきたい。